

Hitachi Koki

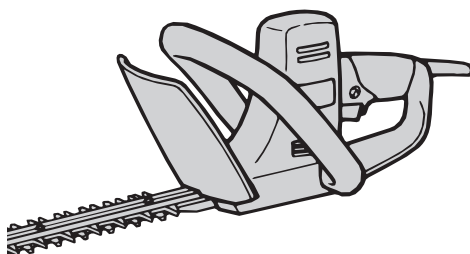
取扱説明書 保証書付

形 名

FCH 40SC
FCH 45SC

日立植木バリカン

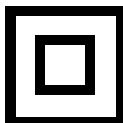
このたびは日立植木バリカンをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



用 途

- 生垣などの仕上げ刈り込み
- 庭樹の整枝、せん定

二重絶縁



電動工具の安全上のご注意	1
植木バリカンの使用上のご注意	4
二重絶縁について	5
各部のなまえ	5

はじめに

ご使用前の準備	6
ご使用前の点検	7
プロテクタの取付け	8
サブハンドルの取付け	8
ブレードケースの取りはずし・取付け	8
生垣や庭樹を刈り込む	9
ブレードの交換	11




使いかた


点検・お手入れする	12
故障かな…というときは	13
仕様	13
アフターサービスについて	14
保証書	裏表紙


その他


HITACHI


警告、 注意、 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」、「 注意」、「 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

 **警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

 **注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

 **注** : 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なお注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

警告

- ⑥ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店または日立工機(株)の修理の窓口に依頼してください。
 - 継ぎ(延長)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

警告

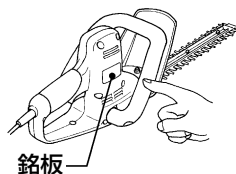
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- 使用しない、または修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。**
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。**
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った継ぎ(延長)コードを使用してください。**
- 屋外で継ぎ(延長)コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。**
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。
- ⑳ 損傷した部品がないか点検してください。**
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の修理窓口にて修理を依頼してください。
 - スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の修理窓口にて修理を依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。**
- この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店または日立工機(株)の修理窓口にお申しつけください。
- ご自分で修理しますと、事故やけがの原因になります。

植木バリカンの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、植木バリカンとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

警告

- ① 雨の中での作業や雨あがり直後のぬれた枝の刈込みはしないでください。また、雨が降っているとき屋外に放置したり、本体がぬれている状態では決して使用しないでください。
 - ・感電や漏電の恐れがあり、事故の原因になります。
- ② 使用中、コードを切断しないよう注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・感電やけがの原因になります。
- ③ ぬれた手で、さし込みプラグ、電源プラグを抜きさししないでください。
 - ・感電やけがの原因になります。
- ④ 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ⑤ 使用中は、本体を両手で確実に保持してください。
 - ・両手で確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ⑥ 使用中は、ブレードに手など身体を近づけないでください。
 - ・ブレードに触れ、けがの原因になります。
- ⑦ ブレードや付属品が確実に取付いていることを確認してください。
 - ・確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ⑧ 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、点検・修理をお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑨ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑩ ブレードは分解しないでください。
 - ・けがの原因になります。
- ⑪ 植木バリカンは機能上、稼働時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は身体的に負担をかけることがありますので、無理な姿勢は避け、定期的に休息をとるようにしてください。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じた場合は、ただちに作業を中断し休憩してください。
 - ・力仕事に不慣れな、例えばご高齢の方は、特に身体的負担にご注意ください。



⚠ 注意

- ① ブレードの取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
 - 不用意に扱うと、切り傷の原因になります。
- ② 針金や鉄板などを切らないでください。
 - 硬いものを切ると故障、けがの原因になります。
- ③ 作業直後のブレードは高温になっているので、触れないでください。
 - やけどの原因になります。
- ④ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - 本体などを落としたりしたとき、事故の原因になります。
- ⑤ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - けがの原因になります。

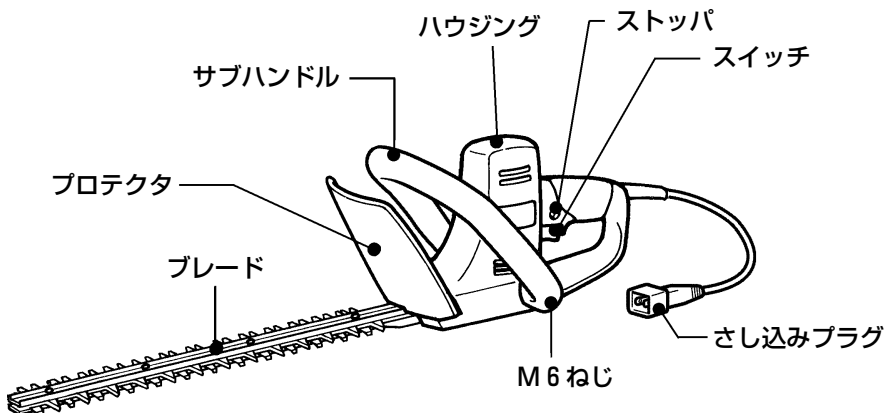
□ 二重絶縁について

電気の流れる所と本体との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

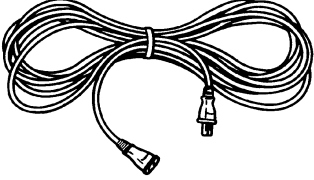
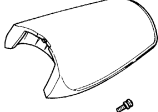
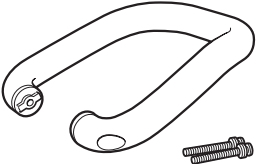
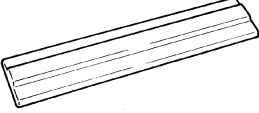
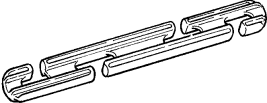
お求めの植木バリカンは二重絶縁をしてあり、銘板に回マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違っで組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機（株）の修理窓口にご用命ください。

各部のなまえ



付 属 品

<p>延長コード(10m) 1本</p> 	<p>プロテクタ (取付け用M5ねじ付き) 1個</p> 
<p>サブハンドル (取付け用M6ねじ付き) 1個</p> 	<p>ブレードケース 1個</p>  <p>プラグクリップ 1個</p> 

ご使用前の準備

●作業前に庭樹のまわりを整理し、足場を良くします

- 庭樹の刈り込みをする前に、古い枝や太い枝はあらかじめせん定バサミで切ってください。
- 高い庭樹にはしっかりしたはしごや脚立を用意してください。

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

- 万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードを使う場合

⚠ 警告

- 延長コードは損傷のないものを用意してください。

付属品の継ぎコードで足りない場合は、電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ(導体公称断面積)と、最大の長さです。

コードの太さ(mm ²)	最大の長さ(m)
0.75	20
1.25	30
2	50

ご使用前の点検

⚠ 警告

- 手順①～③については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

1 スイッチが切れていることを確かめます

- スイッチが入っているの知らずに、電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。
- スイッチは引くと入り、離すと切れます。

2 電源を確かめます

- お求めの植木バリカンは 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、モーターの回転が異常に速くなり、破損するおそれがあります。また、直流電源で使用しないでください。植木バリカンの損傷をまねくだけでなく危険です。

3 さし込みプラグと継ぎコードの接続、プラグクリップの取り付けを確かめます

- 使用中にさし込みプラグから継ぎコードが抜けるのをプラグクリップで防止します。



4 コンセントを確かめます

- コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

○ 騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないようにご使用ください。

⚠ 警告

- プロテクタ、サブハンドル、ブレードケースの取りはずし・取付けの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

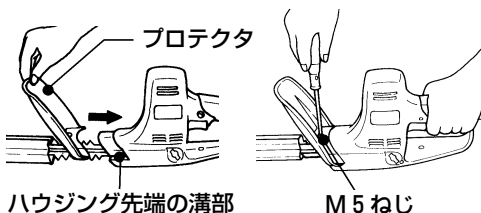
⚠ 注意

- プロテクタ、サブハンドル、ブレードケースの取りはずし・取付けの際は、刃物に手や、体が触れないように、ゆっくりとした動作で行ってください。
けがの原因になります

プロテクタの取付け

ハウジング先端の溝部に合わせてプロテクタを入れます。

M5 ねじで固定します。

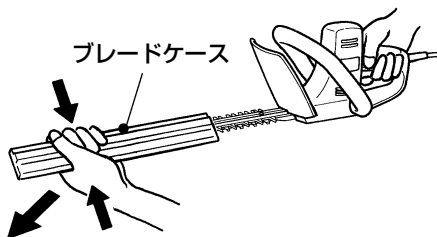


ブレードケースの取りはずし・取付け

本機をご使用にならないときは、刃物によるケガ防止のため必ずブレードケースでブレードをおおってください。

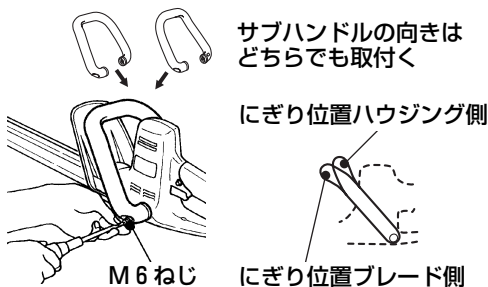
取りはずし

ブレードケースを軽く握りながら引抜いてください。



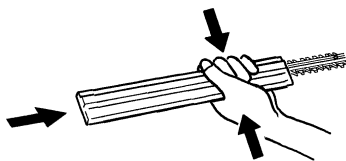
サブハンドルの取付け

サブハンドルは、取付ける方向でにぎり位置をハウジング側またはブレード側のどちらかに選べます。



取付け

ブレードケースの口元を軽く握り、ブレードが入りやすいように広げて、ゆっくりと入れてください。



ハウジングの取付溝 (凹部) にサブハンドルの凸部を合わせ、M6 ねじを十分に締付けます。

使
い
か
た



生垣や庭樹を刈り込む

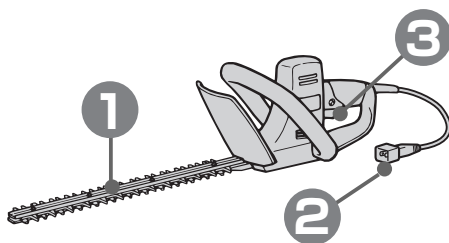
生垣や庭樹などを刈り込みます。

⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、手順①は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。急に動き出し、けがの原因になります。
- 使用中に異常音や異常振動など本体の調子に異常を感じたときは、直ちに指を離してスイッチを切り、点検・修理に出してください。
- 使用中は、ブレードに手や、体を近づけないでください。ブレードに触れけがの原因になります。
- 使用中は保護メガネをかけてください。木の枝や木くずが飛び散ると、けがの原因になります。

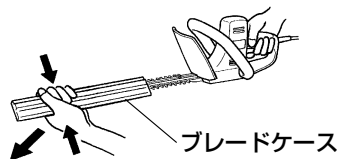
⚠ 注意

- 針金や鉄板などを切らないでください。硬いものをきると、故障・けがの原因になります。
- 太い枝（直径15mm以上）は、あらかじめ余裕のある太さまでせん定バサミで切っておいてください。能力以上の負荷を加えると、故障の原因になります。
- 太い枝などをかみ込んだ場合は、ただちに指をはなして、スイッチを切ってください。ロックさせたままにすると故障の原因になります。

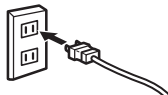


1 ブレードケースをはずします

- ブレードケースを軽くにぎりながら引き抜きます。



2 電源プラグをコンセントにさしこみます

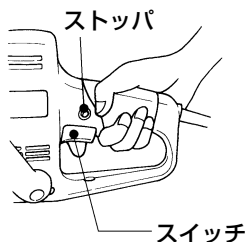


3 スイッチをいっぱいに引き、刈り込みます

(P10 ストッパについて参照)

●ストップについて

- スイッチをいっばいに引いた状態で、ストップを押すと、スイッチをはなしても動き続ける、連続運転になります。切るときは、もう一度スイッチを引き、ストップがはずれてから指をはなします。



- 注**
- 芝生や雑草などを刈り込まないでください。目づまりし、機構部の寿命を短くするなど、故障の原因になります。
 - 太い枝は、刃を軽く押し当てるようにして切断してください。

●上手な生垣の刈りかた

- ①張り糸をつけて、これを目安にして刈り込むと、角部（コバ）を鋭角に仕上げやすくになります。



- ②次に、生垣の上面を右から左（または左から右）へ移動しながら刈り込みます。



- ③側面は、下から上に向かって移動しますと、刈り込みやすく、きれいに仕上がります。



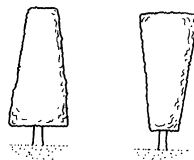
●上手な庭樹の刈りかた

- 太い枝（直径10mm以上）は、あらかじめ樹姿の10cmくらい内側をせん定バサミで刈り込んでおきます。



- 密生した枝葉については、下から上に向かって刈り込み、好みの形状に仕上げます。

よい刈り込み 悪い刈り込み



上の方は思い切って刈り込む

- 玉ものは、上のほうを強く刈り、下のほうは弱く刈ります。

徒長枝を刈り込む



ブレードの交換

ブレードは消耗品です。ブレード組（別売部品）のご購入は、お買い求めの販売店または日立工機の修理窓口にご用命ください。

切れ味が落ちたときは新しいブレードに交換されることをお勧めします。

警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

- ブレードの交換の際には、必ず手袋およびブレードケースを付け、手や顔などに直接刃物が触れないようにしてください。

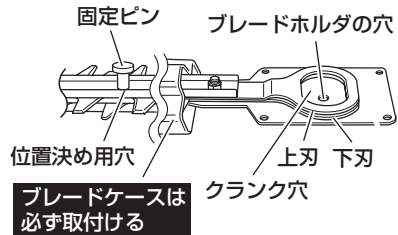
1 古いブレードを取りはずします

- ① 4本のねじをプラスドライバーでゆるめ、ブレードを取りはずします
- ② ハウジング内に入った刈りくずやごみを取り除きます。



2 新しいブレードの取付け準備をします

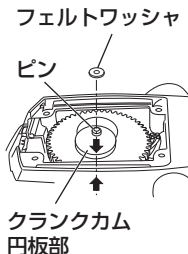
- ① 新しいブレードは固定ピンにより上刃と下刃が機体に取付ける状態で固定されています。固定ピンが抜けてしまった際は、上刃と下刃のクランク穴とブレードホルダの穴の中心を合わせ、固定ピンにて固定します。



- 注** • ブレードの交換の際、ギヤやカム部などについているグリースをふき取らないでください。グリースは運転を円滑にするためのものです。

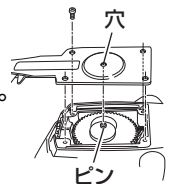
3 クランクカムを手で回して図の位置にします

- ① クランクカムの円板部が図のように、機体に対して真横に来るように調整します。
- ② フェルトワッシャがはずれた場合は、クランクカム円板部のピンにはめてください。



4 新しいブレードを取付けます

- ① 新しいブレードを機体に組み込み、4本のねじで十分に締付けます。
- ② ブレードケースを取りはずし、固定ピンを抜きます。



点検・お手入れする

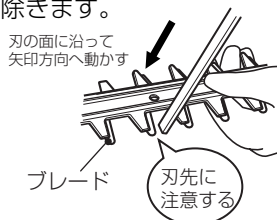
⚠ 警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ブレードは分解しないでください。
けがの原因になります。

● ブレードの研ぎ出し

鉄ヤスリを矢印の方向へ動かして粗とぎして、油トイシで仕上げます。

- 中目または細目の鉄ヤスリを使います。
- 油トイシは機械油（自転車油など）を塗って研ぎ出します。
- ブレードの刃の裏側に出た返りをトイシで軽く取り除きます。



⚠ 警告

- ブレードの取り扱いには、手袋、布などで手を保護し十分注意してください。
けがの原因になります。

ブレードの研ぎ出し時期

刈り込む樹木の種類や使い方、使用期間などで異なりますが、目安として年に一回はブレードを研ぎ直し、いつも切れるようにしてお使いください。

● ブレードへの注油

- 刈り込みにより、刃先についた樹液などは、機械油（または自転車油など）を注油し、布でふきとってください。また、使用后やシーズンオフにはブレードがさびないように、必ず機械油を注油してブレードケースを取付けて保管してください。

● 取付けねじの点検

- 時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。そのまま使用すると危険です。

● 本体はきれいに

- 石けん水に浸した布でふいてください。ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので使わないでください。

注 保管場所について

次の場所には保管しないでください

- お子様の手が届いたり、持ち出せる所。 ● 直射日光の当たる所。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある所。

故障かな…というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

症 状	考えられる原因	処 置
動かない。	・電源プラグがさし込まれていない。	・電源プラグをコンセントにさし込んでください。
	・継ぎコードがはずれている。	・継ぎコードとさし込みプラグを接続してください。 (→P7参照)
刈り込みが上手にできない。	・ブレードの刃が古くなっている。	・新しいブレードに交換してください。(→P11参照)

仕 様

形 名	FCH 40SC	FCH 45SC
使 用 電 源	単相交流 50 / 60Hz 共用 電圧 100 V	
能 力 (刈り込みできる樹木の太さ)	直径約 15 mm (樹木の新芽の場合)	
刃物寸法(刈り込み幅)	400 mm	450 mm
無負荷ストローク数	1600 min ⁻¹ { 1600 回/分 }	
全 負 荷 電 流	4 A	
消 費 電 力	380 W	
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター	
質 量 (コードを除く)	2.7 kg	2.8 kg
コ ー ド	2心キャブタイヤコード 0.35 m	

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。

正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらず、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。

また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

相談と修理の窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

植木バリカンについてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようになっております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合もありますので、その節は「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お買物相談、販売店のご紹介、総合的なご相談と修理についてのお問い合わせは…〔相談と修理の窓口〕へ

お住まいの地域	窓口の所在地	支店(部)名	電話番号
全 国	港 区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 271 - 4751
青森、岩手、宮城、秋田、 山形、福島	仙 台 市	東 北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、東京、 千葉、神奈川、山梨、新潟、 長野、静岡県富士川以東	台 東 区	東 京	(03) 5812 - 6331
岐阜、愛知、三重、 静岡県富士川以西	名 古 屋 市	中 部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井	金 沢 市	北 陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、 奈良、和歌山	大 阪 市	関 西	(06) 4796 - 8451
鳥取、島根、広島、岡山、山口	広 島 市	中 国	(082) 228 - 0537
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四 国	(087) 863 - 6761
福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九 州	(092) 621 - 5772

「電動工具お客様相談センター」



0120 - 208822 (フリーダイヤル・無料)

※携帯電話からはご利用になれません。

(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ—<http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

日立植木バリカン保証書

形名	FCH 40SC FCH 45SC	保証期間	本体：1年 (付属品は除く)
※お買い上げ日	平成 年 月 日	製造番号	
※お客様	お名前		
	ご住所	〒 電話()	
※販売店	住所	〒 電話()	
	店名		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

保証期間内に取扱説明書などの注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき無料修理いたします。お買い上げの日から上記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には、有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の衝撃、落下あるいは移動、輸送などによる故障または損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - 保管の不備およびお手入れの不備による故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に形名、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 一般使用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
 - 付属品、別売部品や消耗品類の場合。
- 本製品の故障などに伴う二次的損害に対する保証はいたしません。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- ご転居、ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にできない場合には、取扱説明書記載の営業本部または、支店にお問い合わせください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または日立工機(株)のご相談窓口にお問い合わせください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。

(This warranty is only Japan)

 日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南 2-15-1 (品川インターシティ A 棟)
電話 (03) 5783-0626 (代)